



経済産業省

経済産業省における認知症関連施策の動向

2025年11月21日（金）

経済産業省 商務・サービスグループ ヘルスケア産業課

小野 聰志

認知症イノベーションアライアンスWG：令和7年度協議内容

- ・ 認知症イノベーションアライアンスWGは、認知症の人の尊厳・想いを尊重しながら、産業、公的機関、医療、福祉等さまざまなステークホルダーと連携し、イノベーション創出に向けた検討を行う場であり、主に以下の①②③の取組を推進。
- ・ 令和7年度は特に①当事者参画型開発モデルの推進について進捗を報告し、必要とされる施策等について議論。

令和7年度委員選定および開催日程・方法

- 座長 … 国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 所長 岩坪 威
- 委員 … 25名（学識、企業、当事者等）
- オブザーバー … 厚生労働省等
- 第1回：令和7年9月16日@ウェブ開催
- 第2回：令和8年2月頃 @ウェブ開催

認知症イノベーションアライアンスWG（事務局：経産省、日本総研）

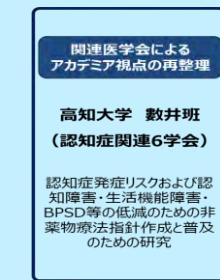
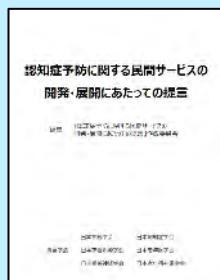
①当事者参画型開発モデルの推進

オレンジイノベーション・プロジェクトの推進



②認知症予防市場の環境整備

認知症関連6学会による「提言」や「指針」の整備



認知症発症リスクおよび認知障害・生活機能障害・BPSD等の低減のための非薬物療法指針作成と普及のための研究

③研究開発の促進

共生・予防等に関してエビデンスを構築する実証事業を支援



当事者参画型開発の取組の目的

- 認知症の人が企業の開発プロセスに「参画」し、企業とともに新しい価値を生み出す「共創」を行う「当事者参画型開発（＝オレンジイノベーション・プロジェクト）」を推進。
- 本取組の目的は、共生社会の実現に資する質の高いソリューションが創出される仕組みの構築。



本取組における「当事者参画」、「参画」、「開発」の定義・考え方

- 本取組における「当事者参画」とは、「製品やサービスに対するニーズをもつ認知症の人自身が、協力の意思を持って、それらの製品・サービスの開発プロセス（企画、実施、評価等）に『参画』すること」と定義する。
- 認知症の人の主体的な協力意思を伴わない、一方的な観察や意見聴取は「当事者参画」とは言えない。
- 「認知症の人のニーズを反映した製品・サービス」であるこの条件として、認知症の人の意見が製品・サービスの「コアあるいはそれに近い部分」への反映を意図したものである必要がある。
- ここでの「開発」は新しい製品・サービスの創出だけではなく、既存の製品・サービスを認知症の人の意見をもとに改良することも含む。

認知症施策推進基本計画における位置づけ

- 令和6年12月3日に閣議決定された「認知症施策推進基本計画」において、認知症の人と家族等が企業の開発活動に参画することについて、基本的施策および重点目標の一部として盛り込まれている。

III 基本的施策
2. 認知症の人の生活におけるバリアフリー化の推進
(4) 認知症の人に於て利用しやすい製品・サービスの開発・普及の促進
日本認知症官民協議会による官民連携の下、認知症の人と家族等が参画した、認知症の人が地域で生活する上で利用しやすい製品・サービスの開発・普及を促進するため、モデル的取組を好事例として展開し、こうした取組が自主的、継続的に進むよう取り組む。

【重点目標3】

認知症の人・家族等が他の人々と支え合いながら地域で安心して暮らすことができるこ

プロセス指標	アウトプット指標	アウトカム指標
・部署横断的に認知症施策の検討を実施している地方公共団体の数	・就労支援も含めて個別の相談・支援を実施していることを明示した認知症地域支援推進員や若年性認知症支援コーディネーターを設置している地方公共団体の数	・自分の思いを伝えることができる家族、友人、仲間がいるを感じている認知症の人の割合
・認知症の人と家族等が参画して認知症施策の計画を策定し、その計画に達成すべき目標及びKPIを設定している地方公共団体の数	・認知症バリアフリー宣言を行っている事業者の数	・地域で役割を果たしていると感じている認知症の人の割合
	・製品・サービスの開発に参画している認知症の人と家族等の人数	・認知症の人が自分らしく暮らせると考えている認知症の人及び国民の割合
・医療・介護従事者に対して実施している認知症対応力向上研修の受講者数	・基本法の趣旨を踏まえた認知症ケアパスの作成・更新・周知を行っている市町村の数	・認知症の人の希望に沿った、保健医療サービス及び福祉サービスを受けているとを考えている認知症の人の割合
	・認知症疾患医療センターにおける認知症関連疾患の鑑別診断件数	

実現したい社会像および必要な事項

- ・本プロジェクトによって実現したい「社会像」およびその「社会像の実現に向けて必要なこと」の取りまとめを昨年度実施。
- ・本整理を念頭に、具体的な取組を進めていく予定。

オレンジイノベーション・プロジェクトによって実現したい社会像

認知症の人のニーズや経験を反映した製品・サービスが身边にあり、
誰もが、自分の力や個性を活かしながら、大切にしたい暮らしを続けることができる社会



上記の社会像の実現のための必要な事項

- ① 多様な認知症の人が企業の開発に安心して参画し、声や思いを伝えることができる
- ② さまざまな地域で当事者参画型開発が実践されており、多くの認知症の人が開発に参画する機会があること
- ③ 認知症の人と企業の関係が「単発のもの（＝聞きっぱなし）」ではなく、適切なフィードバックが行われる「継続的なもの」であること
- ④ 認知症の人やその家族等の日々の生活に関わる多様な企業が当事者参画型開発を行っていること
- ⑤ 認知症の人とともに開発した製品・サービスにより、企業が十分な収益を上げていること
- ⑥ 自分にあった製品・サービスを認知症の人やその家族等が日々の生活の中で気軽に購入・利用することができる

本年度（令和7年度）の企業・団体等の参画状況

- 本プロジェクトは、令和2年度に検討を開始し、認知症の人とともに生活課題の解決ややりたいことの実現に資する製品・サービスの開発に取り組む企業・団体を対象とした開発の支援を継続的に実施。
- 今年度は、58の企業・団体を採択した（令和2～4年度：5社⇒令和5年度：20社⇒令和6年度：46社）。

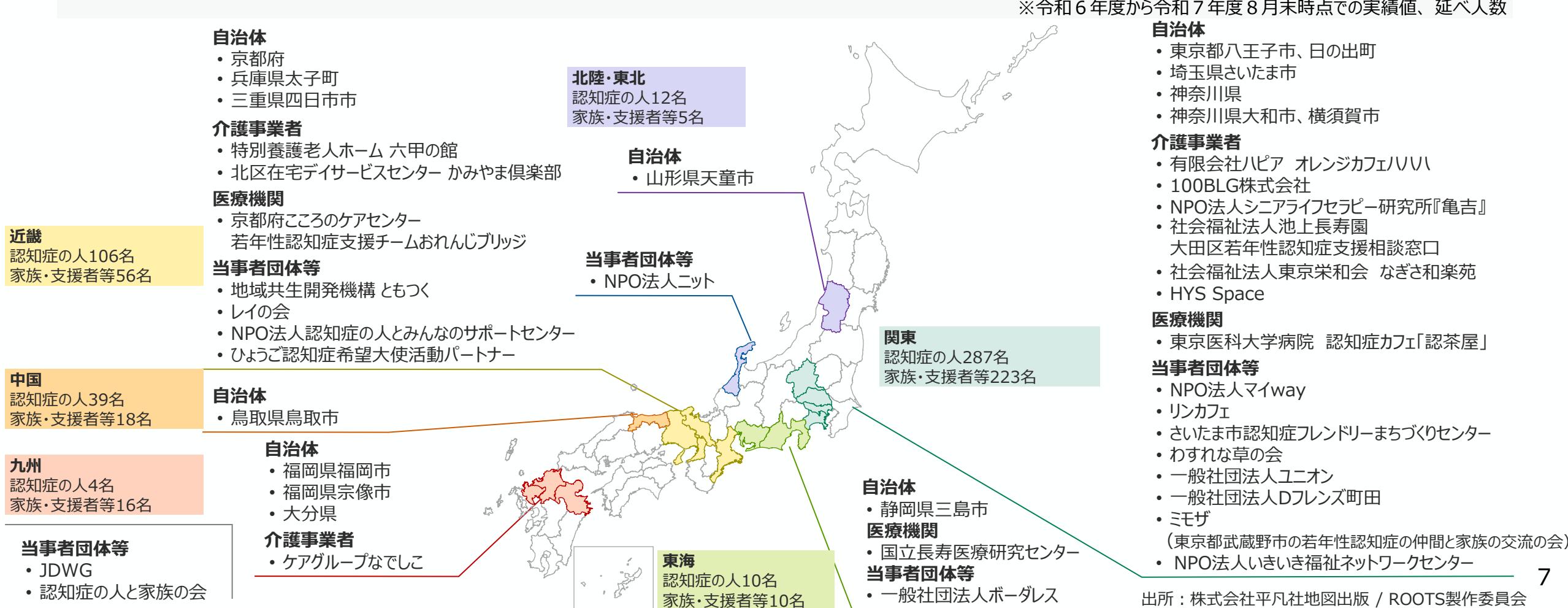
※外部有識者からなる審査会（非公開）において採択可否を検討

令和7年度 オレンジイノベーション・プロジェクト 実践企業・団体（58企業・団体）



パートナー団体の拡大 認知症の人等の参画状況

- 日本認知症本人WG、認知症の人と家族の会、厚生労働省と連携し、開発に参画する認知症の人の募集にご協力いただきパートナー団体（自治体、介護事業者、医療機関、当事者団体）等の拡大に向けた取組を実施。
- 令和6年度以降、認知症の人461名、家族・支援者等328名の計789名が開発活動に参画。



2025年度の取り組み 情報発信イベントの開催実績

情報発信イベントの様子

三井住友銀行
令和7年5月21日、22日

主催：三井住友銀行
後援：東京都、千代田区

京都劇場

主催：一般社団法人司延子モダンバレエ
後援：京都市

大和市文化創造拠点シリウス

令和7年9月25日

共催：大和市
後援：神奈川県

三井住友銀行



京都劇場



大和市文化創造拠点シリウス



多様な主体（医療機関、職能団体等）と連携した取組の実施

- 昨年度に引き続き、医療機関や職能団体等と連携した取組にも注力。
- 牛乳石鹼共進社株式会社およびTOPPANデジタル株式会社はそれぞれ大阪府内の医療機関と、株式会社マグエバーは神奈川県作業療法士会と連携し、認知症の人とともに取組を進める予定。

大阪府内の医療機関（医師、看護師）と連携した取組事例

- 牛乳石鹼共進社株式会社は、コップ一杯の水で爽快な湯あがりを提供する『YUAGARI』ポータブル洗髪機&洗浄剤を開発。製品がお風呂の課題解決につながるか、改良点は何かを明確にしていく予定。
- TOPPANデジタル株式会社は、黒電話型のAIと音声で会話を行うコミュニケーション支援サービスを開発。一人の時間にも安心感やつながりを感じられるよう会話相手として寄り添うことを目指し取組を進める予定。

牛乳石鹼共進社株式会社 TOPPANデジタル株式会社



X 大阪府内の
医療機関

神奈川県作業療法士会と連携した取組事例

- 株式会社マグエバーは、強力なネオジム磁石を安全に使用できるようにシリコン樹脂でコーティングした製品「シリコンマグネット」を開発。社会課題を解決するマグネット製品の開発を目指し、取組を進める予定。

株式会社マグエバー



X 神奈川県
作業療法士会

2025年度の取り組み

マスメディア等での掲載実績

- ・テレビ・新聞・雑誌等のマスメディアにおいても本プロジェクトに関する情報発信が増加傾向。
 - ・認知症の人及び企業の関心喚起・参画促進に向けた広報・情報発信は今後も継続的に実施予定。

主婦の友社「月刊誌ゆうゆう」（令和7年10月号）



認知症の人と家族の会 「会報ぽ～れぽ～れ」(令和7年9月号)



その他の主な掲載実績

- ・ 日本経済新聞「[社説] 認知症の人に優しい製品を」（令和7年8月25日）
 - ・ 毎日新聞「[毎日フォーラム・ファイル] 認知症 経産省が対応する商品開発を支援」（令和7年3月10日）
 - ・ 時事通信社「[マーケットニュース] 「オレンジイノベーション」で初の表彰式＝認知症当事者と使いやすい製品・サービスを開発」（令和7年3月6日）

【参考】開発している製品・サービスの例



- スケジュール管理を支援する
分かりやすいデザインの
「日めくりカレンダーアプリ yottey(ヨッティ)」



- 10万円以下の紙幣の引出しのみのシンプルな機能を持ち、操作に迷わない・間違えにくく、どちらでもスムーズに利用可能なATM「ホックタッチ」



- 1人暮らしの高齢者が使用する電気ポットを通じて、離れて暮らす家族がポットの使用状況を知ることで安否を確認するサービス



- 動画を見ながら誰もが楽しくクラフトキットをつくることができる「オンデマンドくらふと」



- 日々のできごとを写真とセットで記入して、記憶を手帳に記録する形で保持する「おぼえている手帳」



- 紙の日めくりカレンダーをデジタルで再現し、日付と曜日表示をメインとしたデジタル日めくりカレンダー。



- 手を使わずに立ったまま履ける「スパットシユーズ」



- 慣れ親しんだガス火調理をいつまでもシニア世代向け
ガスコンロ SAFULL+（セイフルプラス）
視覚的な分かりやすさのためにカラーリング、デザイン等を工夫。



視覚的な分かりやすさで間違え防止



- 誰でも簡単に使える腕時計型の歩行用ナビ
「ツギココ」



- 誰でも開け閉めがしやすいファスナー



momote



- 誰でも、いくつになっても、
使いやすい・続けやすい高保湿スキンケア
「momote（モモテ）」



- 「認知症の方も安心して楽しめる！日帰りバスツアー」



- 想い出の写真と楽しい会話でふたたび輝く
「TEKODEKO RECOLLECTION 人生まるごと
回想アルバム」

流通・販売経路に関する検討

- 2025年度からは特に当事者参画型開発で生まれた製品・サービスの流通・販売経路の検討、開拓にも注力。
- 認知症の人や家族等の購買者が生活課題を解決する製品・サービスに何を求めているか、どのような状況なら購買につながるか整理し、購買に至る最適な販売経路を検討する。2025年度中を目途に、ECサイト運営事業者と連携した製品・サービスの販売網の構築や、ショッピングモール等と連携したキャラバン形式等を用いた全国販売展開を目指す。

2025年度の主な実施事項

- 開発に取り組む企業や認知症の人等の募集
- 企業と認知症の人等とのマッチング支援、伴走支援
- 採択企業向け講座・研修の実施
- **製品・サービスの流通・販売経路の検討**
- **流通・販売パートナー企業との連携・販路開拓**
- 企業の関心喚起・参画促進に向けた取組
- 企業及び当事者の参画拡大に向けた広報等

【連携先（例）】

- 通信販売・ECサイト運営事業者
- 商業施設・ショッピングモール運営事業者 等

【連携方法（例）】

- ECサイトにおける本プロジェクト関連製品の紹介・販売ページ構築
- 製品・サービスに触れ、購入することができる常設展示/売り場の整備
- 通信販売（カタログ販売等）における特設紹介ページの作成

株式会社イトーヨーカ堂と連携した取組状況

- 株式会社イトーヨーカ堂の協力のもと、本プロジェクトから生まれた製品・サービスの販売に活用可能な「タグ」を作成した。今後、利用基準等を定めた上で、他の採択企業向けに展開する予定。
- また、株式会社イトーヨーカ堂では、本プロジェクトから生まれた製品のカタログを独自に作成し、顧客向けに配布している。

タグ



ORANGE INNOVATION PROJECT

経済産業省は、認知症になってからも自分らしく暮らし続けられる共生社会の実現を目指し、認知症の人人が主体的に企業や社会等と関わり、認知症当事者の真のニーズをとらえた製品・サービスの開発を行う「当事者参画型開発」の普及と、その持続的な仕組みの実現に向けた取組を推進しています。



経済産業省 認知症政策
詳細はこちら



カタログ

オレンジイノベーション・プロジェクト

～認知症当事者とつくる、誰もが生きやすい社会～

この商品は「オレンジイノベーション・プロジェクト」を通じて様々な方々と直接触れ合い、日々感じているお悩みや要望を反映し生まれた商品です。

みんなが使える優しさアイテム
スムーズに着られるやさしいパジャマ

履く人も履かせる人にもやさしい
ルームシューズ

4 13

イオンリテール株式会社と連携した取組状況

- ・イオンリテール株式会社では、2023年9月にシニアケア事業「MySCUE（マイスキュー）」を開始。イオンスタイル品川シーサイド店での店舗の運営や、情報サイトの運営等を行っている。
- ・今後開設を予定している「MySCUEマーケットプレイス」において、本プロジェクト参画企業の製品・サービスの周知・販売に向けた協議を実施中。

イオンスタイル品川シーサイド店の店舗

「見る、知る、話せる」をコンセプトに、シニアケアに関わる多様な製品・サービスを展示・販売中。



情報サイトの運営



記事検索

相談・質問

SCUEERブログ

経験者のコラムや、お役立ち情報、グッズの紹介など、様々な記事がアップされます。

経験者やプロに気軽に質問していくだけです。
●相談できる専門家・パートナー
企業一覧はコチラ

日々の介護やサポートの記録をブログにして共有できます。非公開設定にして、日記のように使うことも可能です。



コミュニティ



イベント

苦労を共にするケアラーの仲間と、ケアのこと、趣味のこと、雑談、なんでも気軽に話せます。
ケアに役立つイベント情報を発信します。

オレンジイノベーション・アワード2024 概要

- 本取組の認知拡大に向け、企業や団体等を対象とした表彰（オレンジイノベーション・アワード）を開催。
- 計35件の応募から、受賞企業を決定。2025年3月5日に表彰式を開催。

オレンジイノベーション・アワードの概要	
目的	<ul style="list-style-type: none">認知症の人とともに、生活課題解決や、やりたいことの実現の助けとなる製品・サービスの開発が、さまざまな業界・領域にて推進され「当事者参画型開発」の認知が拡がり、共生社会が実現されることを目指し、開催するもの。
対象	<ul style="list-style-type: none">認知症の人との共創のプロセスを重視して開発されたユーザーフレンドリーな製品やサービス、また、当事者参画型開発の中で実践されている活動・取組自体。
スケジュール	<ul style="list-style-type: none">応募締切：2024年12月26日（木）表彰式：2025年3月5日（水）
審査基準	<ol style="list-style-type: none">認知症の人の視点／意見が反映されているか独自性／独創性があるか認知症の人を含めた生活者のQOL向上にどれだけ寄与するか／期待されるか認知症の人を含めた生活者に対し、広く薦め普及させていきたいと思うか
応募総数	35件



オレンジイノベーション・アワード2024 審査結果

- 最優秀賞はYKK株式会社の「誰でも開け閉めがしやすいファスナー」が受賞した。
- 優秀賞は豊島株式会社、KAERU株式会社が、特別賞はリンナイ株式会社がそれぞれ受賞した。

最優秀賞

YKK株式会社

誰でも開け閉めがしやすいファスナー

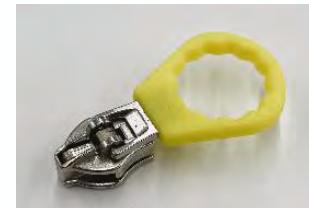
①マグネットの磁力により開具が
引き合うファスナー
(click-TRAK® Magnetic)



②オープンファスナーの
挿入補助パーツ



③ユニバーサル引手



優秀賞

豊島株式会社

医療機関と連携した認知症当事者の方にも優しい衣料品の開発



KAERU株式会社

安心安全、おつりの計算いらずで お買い物を楽しめるキャッシュレス サービス『KAERU』



KAERUは安心安全、おつりの計算いらずでお買い物を楽しめるキャッシュレスサービスです。スマートフォンと事前チャージ式のカードを組み合わせて、簡単にキャッシュレスを利用できます。

特別賞※

リンナイ株式会社

高齢者に「使いやすさと安心」を提供する ガスコンロ『SAFULL+』



※特別賞は審査基準「①認知症の人の視点/意見が反映されているか」の点数が受賞企業を含めて高いこと等を理由として選出

企業の取組み事例：YKK株式会社

- YKK株式会社は「誰でも開け閉めがしやすいファスナー」の実現に向け、デイサービス、グループホーム、本人ミーティング等と連携し、令和6年度、認知症の人62名、家族16名等が実践に参画。
- 認知症の人の声をもとに、誰もが簡単に開閉・着脱ができるファスニング商品の開発を目指している。



①マグネットの磁力により開具が引き合うファスナー (click-TRAK® Magnetic)

左右の開具にマグネットが内蔵されており、
マグネットの引き合う力で開具が簡単に組み合う



②オープンファスナーの挿入補助パーツ

オープンファスナーの挿入を補助し、
操作性の向上を目的とした後付樹脂パーツ



③ユニバーサル引手

誰でも開け閉めがしやすい引手

YKK株式会社の実践

The image contains two photographs. The left photograph shows a person in a green shirt standing next to a white display board with Japanese text and the YKK logo. The right photograph shows several people in a room, some wearing masks, gathered around a table, examining and using the zipper products.

【改良に向けたご意見（例）】

- マグネット付き製品の操作方法がやり方が慣れている通常品と異なり、操作がしづらい。
- 製品を見ながら操作するより、今までの記憶から感覚で操作している。
- マグネット付き製品の操作方法がこれまで慣れている方法と違い最初は戸惑ったが、慣れるとこちらの方が使いやすい。
- 挿入補助パーツが左右対称の形であったため、差し込む挿入口がわかりづらい。
- 引手が回転してつかみにくい



実践でのご意見を踏まえた改良方針（2025年3月時点）

- 慣れれば使いやすいということが分かった。簡単に分かる操作マニュアルや動画など、ソフト面でも改良・検討する。
- 挿入補助パーツの挿入口を片側のみにすること及び、操作の際のふらつきを抑える形状に変更し検証予定。
- 非旋回タイプでつかみやすい形状をさらに追及する。

認知症になってからも自分らしく暮らし続けられる 共生社会が実現されることを目指し、 当事者参画型開発に取組む企業・団体等を表彰する 「オレンジイノベーション・アワード2025」開催決定！



認知症の人とともに
**ORANGE
INNOVATION
AWARD**

表彰部門の概要

特に優れた取組を幅広く表彰

- 受賞者は、経済産業省ホームページ等で、企業・団体等の名称や取組事例を広く公表
- 受賞企業等は、オレンジイノベーション・アワードロゴを企業PRなどに活用可能
- 表彰式で表彰

募集対象/対象となる取組み

認知症との共創のプロセスを重視して開発しているユーザーフレンドリーな製品・サービスの2部門を募集

【製品・サービス部門】すでに販売・提供開始している製品・サービス

【アイデア部門】販売・提供開始前の製品・サービスのアイデア

※日本国内に拠点を置く企業・団体等（公序良俗に反する等、社会通念上不適切な事業者、団体は除く。）

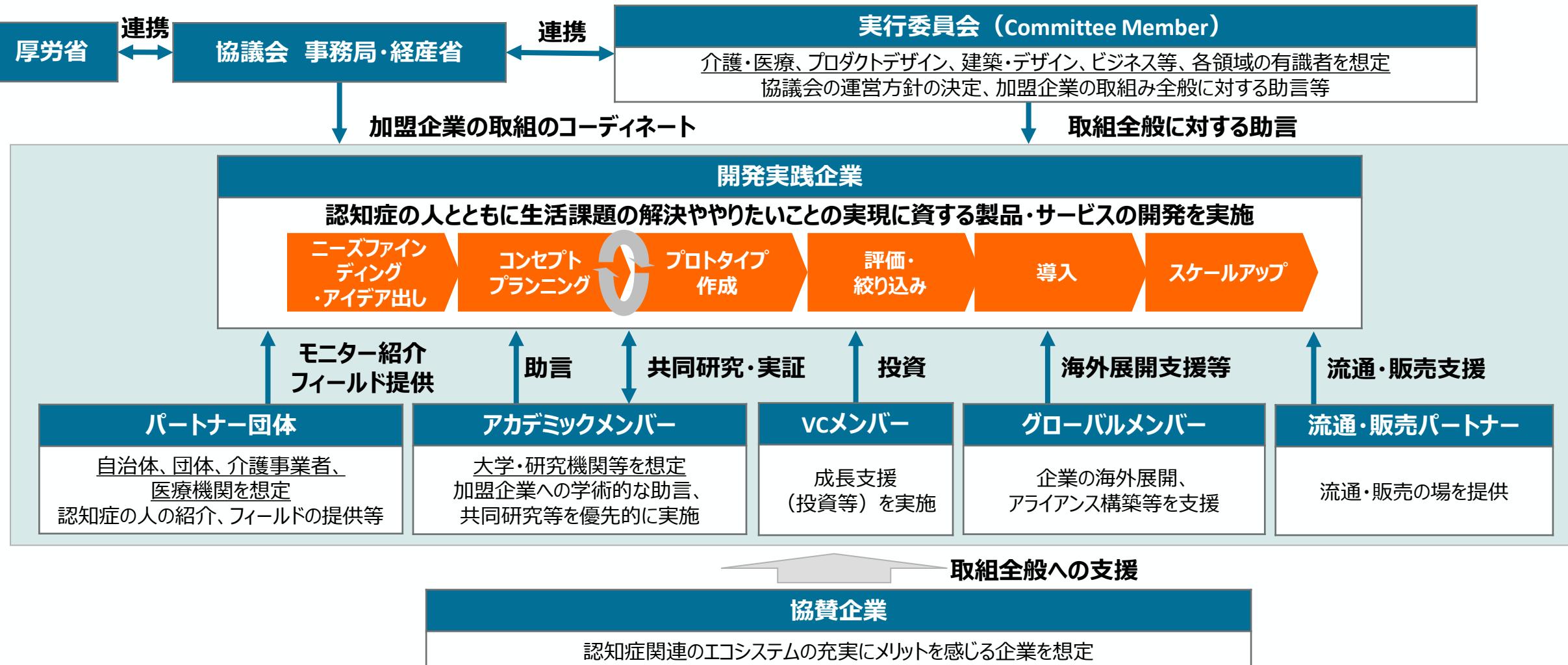
審査基準

以下のような視点に基づいて総合的に評価します。

- 製品サービスの使いやすさ
- 認知症の人の視点や気づきを起点に、認知症の人自身が使ってみたい、もしくは周囲の認知症の人に勧めたいと思う、だれもが使いやすい製品・サービスとなっているか（アイデア段階含む）。
- 認知症の人との共創のプロセス
- 製品・サービスの開発にあたり、認知症の人と丁寧に対話を重ね、認知症の人のニーズや生活背景について、十分に検討できているか。

「当事者参画型開発推進協議会（仮称）」の立上げに関する検討

- 本プロジェクトの自走化に向け、企業の製品・サービス開発のニーズファインディング/アイデア出しから導入・スケールアップまでの一連のプロセスを支援する「当事者参画型開発推進協議会（仮称）」の将来的な立上げを検討中。



ご清聴いただきありがとうございました。